

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒  
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

## 鎌倉アルプスー小春日和の遊山ー



光り輝く相模湾(展望点からの眺望)

1月下旬、古い山の友人に誘われて「鎌倉アルプス」とやらに出かけた。古い友人といっても実は女性（オバサン？）。お互い人畜無害の年頃である。

鎌倉は、頼朝が難攻不落の要域としてこの地を選んだとおりの山が多い。その山々を連ねるハイキングコースが幾つか整備され、その一つ、建長寺の裏山を連ねて縦走する天園ハイキングコースが、別名・鎌倉アルプスの愛称で、市民の人気を集めている。移動高が日本列島の真上に居座った好日の午前10時半、JR北鎌倉駅を出発した。ガイドブックの多くは、拝観料を払って建長寺の境内から入山するコースを紹介しているが、我々は明月院経由の一番長い縦走コースを選んだ。北鎌倉駅から建長寺方向に歩き、踏切を渡って直ぐ左折し明月院方向に向かう。アジサイ寺で有名な明月院は季節には大勢の観光客で賑わうが、今はただ静かな佇まいである。明月院の門前を過ぎ、程なく天園ハイキングコースの看板を見つけて登山道に入る。ほの暗い樹林の中の緩やかな登り。鎌倉の市街が直ぐ近くにあることが信じられないような静かな山歩きである。11時10分、建長寺から来る登山道を右に合わせる



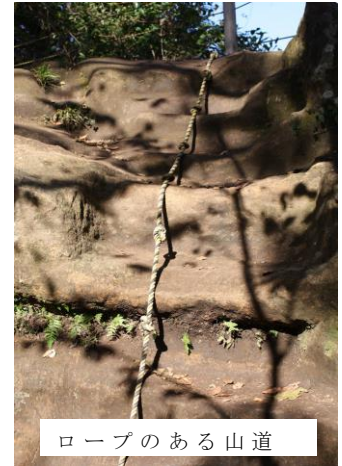
苔むした山道

と、俄然登山客が多くなる。苔むした岩の道が連なり、結構登り下りが多い。中には補助ロープを垂らした急傾斜の箇所もある。さすが「アルプス」である。

十王岩、鷲峰山と過ぎ、最後に大きな岩場を一登りした所が鎌倉市の最高点・大平山(159m)。丁度12時。鎌倉の街並みの彼方、目一杯に相模湾が光り輝く。最高の眺望。最高点から一段降りた所に小広い草原があり昼食休憩にした。

連れのオバサンのザックから色々と食べ物が出るわ出るわ、すっかりお相伴に与った。オシャベリの尽きない

昼の宴も40分程で切り上げ、重い腰を上げて出発し13時、天園に到着。茶店があり、傍らに横浜市最高点(159.4m)の看板がある。ここは横浜・鎌倉の市境の由。後は、瑞泉寺に向かって樹林の中を緩やかに下って行く。天台山、貝吹地藏を過ぎ、13時40分、瑞泉寺入口で山道は終了、以後は車道歩きとなった。途中、鎌倉宮に殊勝に参拝したりして、最後は小町通りの雑踏を観光客に揉まれて歩いた。あちこちとミヤゲ物を買いくるオバサンはまだまだ元気。ようやくJR鎌倉駅到着が15時、小春日和の遊山ハイキングが終了した。



ロープのある山道



大平山頂



山頂直下の草原